

特集 まちづくりの現場から

このコーナーは、上毛町第1次総合計画に掲げられた目標を実現するために町が取り組んでいる事業のプロセスや課題などを毎月シリーズで紹介するものです。今月は、「地域防災力向上の取り組み」の現場からお届けします。



地域防災力向上の推進

「減災」を基本方針に地域防災計画の見直しに取り組み

大陸と大洋にはさまれた日本は、季節の変わり目に梅雨前線や秋雨前線が停滞し、しばしば大雨を降らせます。また、7月から10月にかけては日本に接近・上陸する台風が多くなり、大雨、洪水、暴風、高潮などをもたらします。特に、傾斜の急な山や川が多い日本では、台風や前線による大雨によって、川の氾濫や山崩れ、崖崩れなどが発生しやすく、人々の生活や生命が脅かされるような自然災害が、毎年のように発生しています。昨年7月初旬から続いた梅雨前線の活発な活動による大雨は、九州各地に甚大な被害をもたらした上、上毛町においても、かつて経験したことのないような集中した豪雨により、家屋の浸水被害や道路の損壊、農地災害など多くの被害が発生しました。近年は、短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨も頻発しています。特に道路が舗装された都市部では、川の急激な増水、道路や住宅の浸水、地下街の水没といった被害も発生しています。いつ起こるか分からない大規模災害に備え、私たちは日頃から防災について意識することが大切です。

平成23年3月に発生した東日本大震災や近年増発するゲリラ豪雨などをきっかけに、福岡県では平成24年9月に地域防災計画を修正しました。これを受け、上毛町においても、町や警察・消防などで構成する地域防衛会議において、現在、地域防災計画の見直しを行っております。

地域防災計画には「風水害緊急対策計画」「震災緊急対策計画」があり、今回の見直しでは「震災緊急対策計画」「地震・津波緊急対策計画」「大規模事故等緊急対策計画」を追加し、また、避難対策の充実や地域防災力の向上、広域・長期に及ぶ大規模災害への対応強化などの修正を加えるなど、災害対策を充実・強化・拡充していきます。

地域防災計画の主な修正点

避難対策の充実・強化

- ◎ 地域性を考慮した実践的な避難計画の策定
- ◎ 避難の長期化対策
- ◎ 災害時の要援護者などへの配慮

地域防災力の向上

- ◎ 住民などに対する防災知識の普及・啓発
- ◎ 地域コミュニティによる防災体制の強化
- ◎ 様々な条件に配慮した実践的な防災訓練の実施

広域・長期に及ぶ大規模災害への対応強化

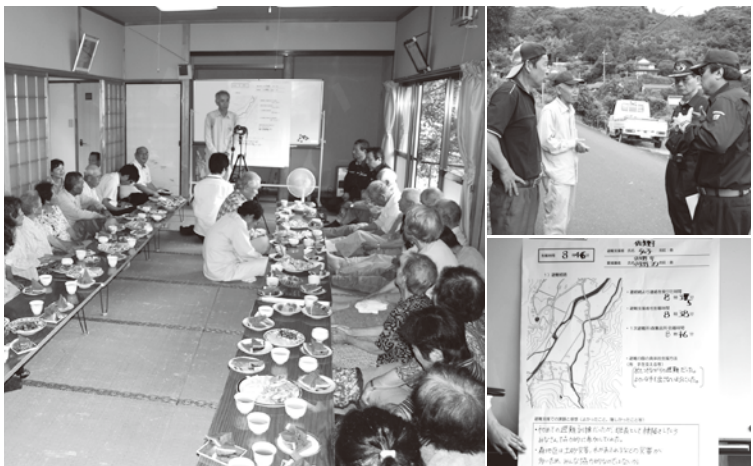
- ◎ 防災体制の強化
- ◎ 広域応援体制などの整備
- ◎ 大規模災害を想定した備蓄・輸送体制などの確立
- ◎ 広域一時滞在への対応
- ◎ 復旧・復興対策

自分たちの地域は自分たちで守る！

大規模な災害が発生し、被害が広域にわたる場合、町や警察・消防などの行政機関が、現場に到着するには、時間を要します。被害を最小限に抑えるためには、「まず第一に、自分や家族の安全を確保する(自助)」「地域のみなさんと協力し合い、自分たちのまちを守る(共助)」という意識を高め、力を合わせて行動することが重要です。

自助・共助を実効性あるものにするためには、「いざというときに備え、日頃から家族で話し合う」「地域で行われる防災訓練などに参加する」「隣近所との交流を深める」ことが大切です。上毛町では、いざというときのために、地域で様々なことに取り組んでいます。

東上4区防災避難訓練



7月13日(土)森・有田地区にて、45名の皆さんが参加し、風水害を想定した訓練を行いました。災害時における要援護者の避難などを実践し、地域の連携と防災意識の高揚に務めました。

矢方地区防災訓練



7月14日(日)矢方婦人消防隊や地域の皆さんが防災訓練を行い、応急処置訓練や煙体験ハウスによる煙の危険性と避難方法を体験しました。この煙体験ハウスは、テント内に発煙機により煙を充満させ、火災時の煙を疑似体験するもので、京築広域圏消防本部が宝くじ助成貢献広報事業の助成金で購入したものです。火災で怖いのは「煙」です。煙はまわりが見えなくなり、有毒なガスも含まれています。姿勢を低くして、煙を吸わないようハンカチやタオルなどで口や鼻をふさいで避難することが大切です。いざという時のため、防災訓練や各種イベントなどの機会に、多くの皆さんに体験していただき防災意識の高揚に活用していきます。

災害から身を守るためには

町や地域が行う対策だけでなく、私たち一人一人の「自助」、すなわち、災害に対する備えをしておく、危険を感じたら早めに避難するなど、自らの身を守るための行動が重要です。大雨や台風ときには、海岸や増水した川、急傾斜地など、危険な場所には近づかないようにしましょう。避難するときも安全なルートを通して移動できるよう、日頃から、「上毛町ハザードマップ」を活用して、危険箇所を確認しておきましょう。

